

2006年度 日本語教育学会秋季大会

主催:(社)日本語教育学会 / 共催:熊本県立大学

開催日:2006年10月7日(土),8日(日) / 会場:熊本県立大学(熊本市月出3-1-100)

参加費(含予稿集):会員=4,000円 一般=5,000円 / 懇親会費:3,000円

参加申込:大会当日受付でお申し出ください / 連絡先:090-1999-3315(当日のみ)

[第1日] 10月7日(土) 大講義棟・新講義棟

評議員懇談会 新講義棟1階中講義室1 10:00~12:00

開会式 大講義棟1階大講義室(メイン),新講義棟1階中講義室2(サブ) 13:30~13:45

司会 川口 義一 (大会委員長)
会長 挨拶 杉戸 清樹 (日本語教育学会会長)
開催校挨拶 米澤 和彦氏(熊本県立大学学長)

シンポジウム 大講義棟1階大講義室(メイン),新講義棟1階中講義室2(サブ) 13:45~17:00

日本語教育における教師研修再考 「教え」と「学び」をどうとらえるか

日本語教育における教師研修の内容は、従来型の、語学教育に関する知的情報や実践上の技術を与えるタイプのものから、教師としての自己をどう成長させ、その人格をどう磨いていくかというものへと、大きくその中心を移しつつある。

本シンポジウムは、教師研修において、この「人間性」を扱う部分をどのような理念のもとで扱い、それをどのようにプログラムに入れるのかについて、異なる立場からの発題とディスカッションを行い、今後の教師研修のあり方について再考するための話題を提供したいと考えるものである。

<企画・運営担当大会委員>川口義一, 才田いずみ, 奥田純子

司会: 奥田純子(コミュニケーション学院)

第1部 パネリストからの発題

- 1 教師の相互研修とメンタリング 教える・学ぶ関係のスパイラル・モデル
春原憲一郎氏(海外技術者研修協会)
- 2 教師の自己理解の重要性 教育とMBTI
大野雄子氏(千葉敬愛短期大学)
- 3 コーチングは何を解決するか 語学学習は誰のプロジェクトか
高橋秀雄氏(TAC日本語学舎)
- 4 教師にとっての「生の質」
青木直子氏(大阪大学)

第2部 ディスカッション

懇親会 第2 大会会館 1階学食 17:30~19:30

[第2日] 10月8日(日) 新講義棟・大講義棟・総合管理学部棟

口頭発表 新講義棟 1階中講義室 1~4 10:20~16:05

ポスター発表 総合管理学部棟 2階大演習室 13:00~15:00

パネルセッション 大講義棟 1階大講義室 10:00~16:00

デモンストレーション 新講義棟 2階小講義室 1~3 13:00~15:00

【口頭発表】

(第1会場) (1階 中講義室1)

- 10:20 ~ 10:50 第二言語としての日本語単語における聴覚的認知の困難さ
台湾人日本語学習者を対象に
邱俞環(広島大学大学院生)
- 10:55 ~ 11:25 「答え」と「不満の答え」の弁別におけるイントネーションの影響
:日本語母語話者と韓国語を母語とする日本語学習者の比較を通して
田淵咲子(神戸大学大学院生), **田川恭識**(大阪大学大学院生)
- 11:30 ~ 12:00 シャドーイングが発音に与える影響
高橋恵利子(広島大学大学院生)
- 13:30 ~ 14:00 学習者の書くことに対する動機づけが作文成績に及ぼす影響
中国人学習者の場合
吉田美登利(学習院大学大学院生)
- 14:05 ~ 14:35 インターネットコミュニティを利用した双方向型遠隔作文授業の試み
大塚薫(高知大学)
- 15:00 ~ 15:30 e-Learning読解コンテンツの構成手法の調査
評価アンケートとインタビューの分析から
加藤由香里(東京農工大学)
- 15:35 ~ 16:05 日本語能力試験における級間共通尺度構成の試み
野口裕之(名古屋大学), **熊谷龍一**(新潟大学),
大隅敦子(国際交流基金), **石毛順子**(同)

(第2会場) (1階 中講義室2)

- 10:20 ~ 10:50 L2日本語学習者のテキスト理解における未知語の
意味推測戦略に母語背景が与える影響
山方純子(神田外語大学大学院生)
- 10:55 ~ 11:25 韓国人学習者における日本語語彙の意味習得
母語と意味的対応のある動詞について
李榮(神田外語大学大学院生)
- 11:30 ~ 12:00 漢越語知識がベトナム人日本語学習者の語彙習得に及ぼす影響
正誤判断テストと作文調査の結果から
中川康弘(神田外語大学), **小林学**(桜美林大学大学院生)
- 13:30 ~ 14:00 学習者のアップテイクを引き出す教師の訂正フィードバックの特徴
日本語中級クラスにおいて
坂大京子(南山大学大学院生)
- 14:05 ~ 14:35 日本語教師の職業的アイデンティティ
武田知子(恵泉女学園大学)
- 15:00 ~ 15:30 年少者日本語教育のシラバスとその実践
オーストラリア キーーンズランド州をケーススタディとして
太田裕子(早稲田大学大学院生)
- 15:35 ~ 16:05 外国人児童が在籍する小学校と日本語教育の専門家の協働のとりくみ
土屋千尋(愛知県立大学), **齋藤ひろみ**(東京学芸大学)

(第3会場) (1階 中講義室3)

- 10:20 ~ 10:50 複合格助詞「にとって」における日本語学習者の誤用について
母語話者及び正用との比較を通して
金蘭美(横浜国立大学大学院生)
- 10:55 ~ 11:25 談話中の「～てあげる」の機能について
教養番組に見られる表現を中心に
古谷真希(九州大学大学院生)
- 11:30 ~ 12:00 日本語学習者はテンス・アスペクト形式の使い分けができるか
菅谷奈津恵(新潟産業大学)
- 13:30 ~ 14:00 定住外国人が日本語を使って生活する場で何が起きているか
八木真奈美(大阪大学大学院生)
- 14:05 ~ 14:35 外国人研修生の地域日本語教室における日本語学習
自己および日本語学習の位置づけと、学習のプロセス
御宿久里恵(鳥取大学国際交流センター)
- 15:00 ~ 15:30 地域日本語ボランティア講座におけるネットワーク化の可能性
M県における意識調査の結果から
仲渡理恵子(南山大学大学院研修生)
- 15:35 ~ 16:05 地域の日本語ボランティアに関するフレームワーク
足立祐子(新潟大学), **松岡洋子**(岩手大学)

(第4会場) (1階 中講義室4)

- 10:20 ~ 10:50 日本語の討論の談話における意見表明の方略
真丸真澄(早稲田大学大学院生)
- 10:55 ~ 11:25 中国人日本語学習者と母語話者の談話展開
視点(注視点と視座)に注目して
奥川育子(筑波大学大学院生)
- 11:30 ~ 12:00 学術場面における大学生の発話調整の分析
協同学習とスピーチの話し言葉のデータから
富谷玲子(神奈川大学)
- 13:30 ~ 14:00 学習動機の違いによる語用能力発達の個人差
断り発話の分析から
山田恵美子(放送大学)
- 14:05 ~ 14:35 「社会構成主義」と日本語教育 欧州の言語教育政策からの示唆
木村哲也(杏林大学)
- 15:00 ~ 15:30 日本語教師と養成課程学生の就業動機に関する実証的研究
:職業的社会的観点から
亀川順代(同志社大学大学院生)
- 15:35 ~ 16:05 「フィールドワーク・企業インタビュー」と教室活動
社会と大学の連携による日本語習得の場の広がり
江原美恵子(早稲田大学)

【ポスター発表】 13:00 ~ 15:00

(会場) (2階 大演習室)

「学習相談」における教師の役割に関する一考察
学習者と教師間の認識のずれを埋める交渉に着目して

野畑理佳(国際交流基金), **和泉元千春**(同)

タイの日本語学習者が求める日本語教師像

小林明子(広島大学大学院生), **佐藤礼子**(滋賀大学),
渡部倫子(岡山大学)

外国語としての日本語漢字熟語の聞き取りに及ぼす第1言語の影響

邱 學瑾(台中技術学院)

海外初等教育機関を対象にしたインターネットによるオンライン日本語教育の試み
無料の汎用版ソフトウェアを使って

森塚千絵(多摩大学研究開発機構), **原みずほ**(同)

日本語シャドーイングの認知メカニズムに関する基礎的研究

口頭再生開始時点, 記憶容量, 文構造の視点から

松見法男(広島大学大学院), **倉田久美子**(広島大学大学院生)

専門への橋渡しと動機づけをめざした大学学部入学直後からの日本語指導

大島弥生(東京海洋大学), **大場理恵子**(東京農業大学)

フィードバック・セッションにおける

ノンネイティブ日本語教師とネイティブ日本語教師の関係

レイン幸代(広島大学大学院生)

日本語母語話者は「日本文化」をどう認識しているか

意識調査の因子分析からの考察

住田環(広島大学大学院生)

日本で勤務する外国人新卒社員の長期日本語研修コースの設計と実施

森千枝見(広島大学大学院),
上村貴世子(財団法人海外技術者研修協会(AOTS)), **春原憲一郎**(同)

初級学習者用漢字教材の開発

渡嘉敷恭子(関西外国語大学), **坂野永理**(岡山大学),
池田庸子(茨城大学), **品川恭子**(カリフォルニア大学サンタバーバラ校)

【パネルセッション】

(会場) (1階 大講義室)

午前 10:00 ~ 12:00 講義の談話構造と受講者の行動から見た講義理解の方法
日本語学習者の講義理解に役立つ手がかりの解明を目指して

西條美紀(東京工業大学),
渡辺文生(山形大学),
中井陽子(早稲田大学),
石黒圭(一橋大学),
藤村知子(東京外国語大学)

午後 14:00～16:00 日本語の使用実態からの日本語教育文法再考

江田すみれ(日本女子大学),

小西円(東京大学),

黒沢晶子(山形大学),

鈴木睦(大阪外国語大学)

〔デモンストレーション〕 13:00～15:00

〔第1会場〕 (2階 小講義室1)

日本語力試験「文法」問題の項目プール化の試み

伊東祐郎(東京外国語大学)

日本留学生のオンライン渡日前遠隔教育

森山新(お茶の水女子大学), 佐々木泰子(同),

加賀美常美代(同), 庄司恵雄(同), 洪玉苓(お茶の水女子大学学生)

〔第2会場〕 (2階 小講義室2)

語彙習得を支援するWebBTの開発

隈本・ヒーリー順子(大分大学), 金森由美(同), 中溝朋子(同)

「用例付 学習語彙5000語 日中対訳(試用版)」

NPO中学・高校生日本語支援を考える会編

樋口万喜子(神奈川県立神奈川総合高校)

〔第3会場〕 (2階 小講義室3)

アダプティブテストモジュール用漢字テストアイテムバンク

秋山 實(合資会社eラーニングサービス)

日本語話者はどんな風になしゃべっているの? - MRIと自然会話の資料 -

定延利之(神戸大学), 金田純平(神戸大学大学院生), 澤田浩子(京都大学),

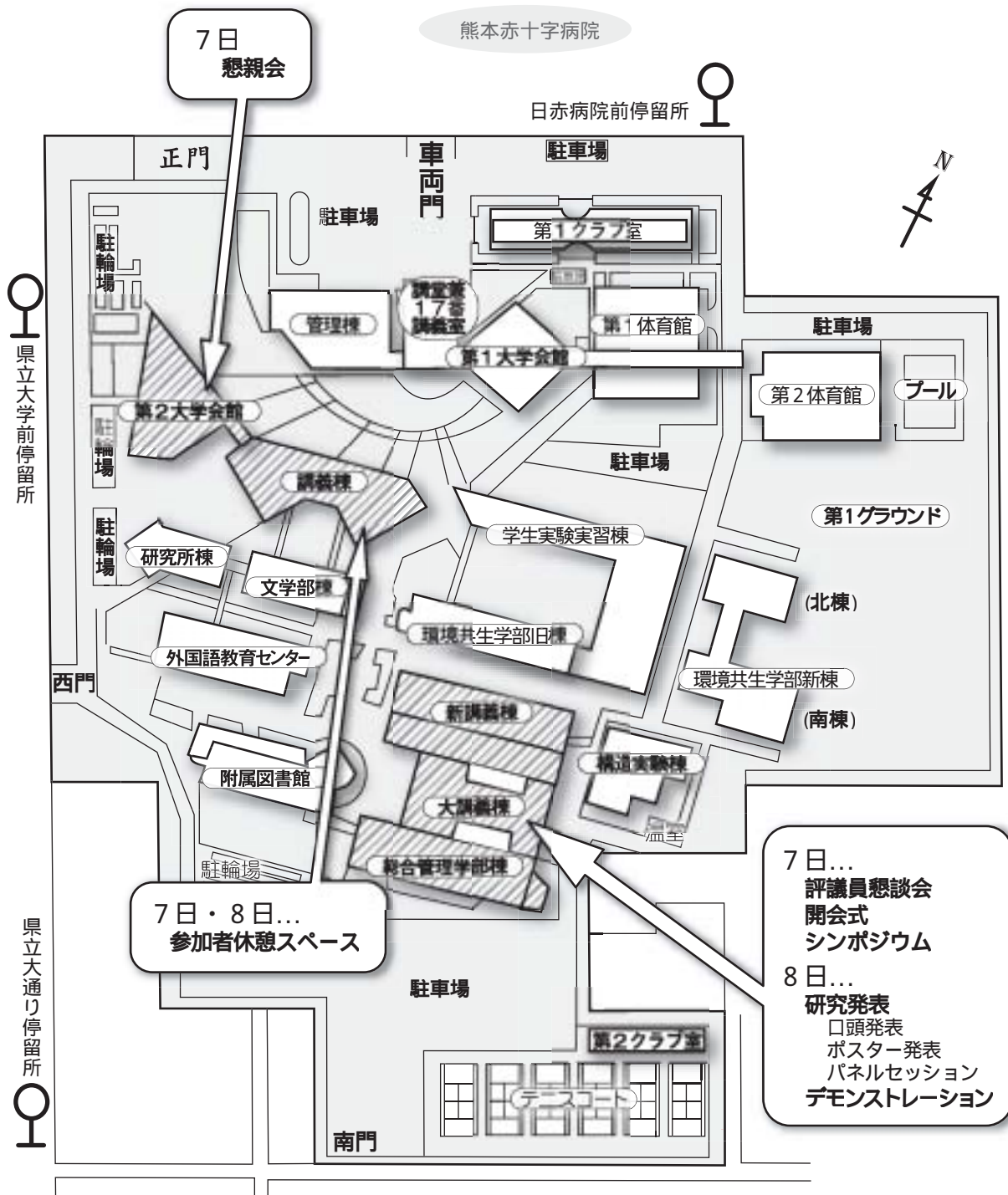
中川明子(神戸大学大学院生), 林良子(神戸大学), 杉藤美代子(大阪樟蔭女子大学)

ABC of Japanese(かなABC)

Cyrus Rolbin(慶應義塾大学),

北井佐枝子(元国際交流基金派遣日本語教育専門家)

熊本県立大学キャンパス案内図



タクシー会社の電話番号

旭タクシー 0120-00-4188

安全タクシー 0120-33-2933

ほまれタクシー 0120-84-0550

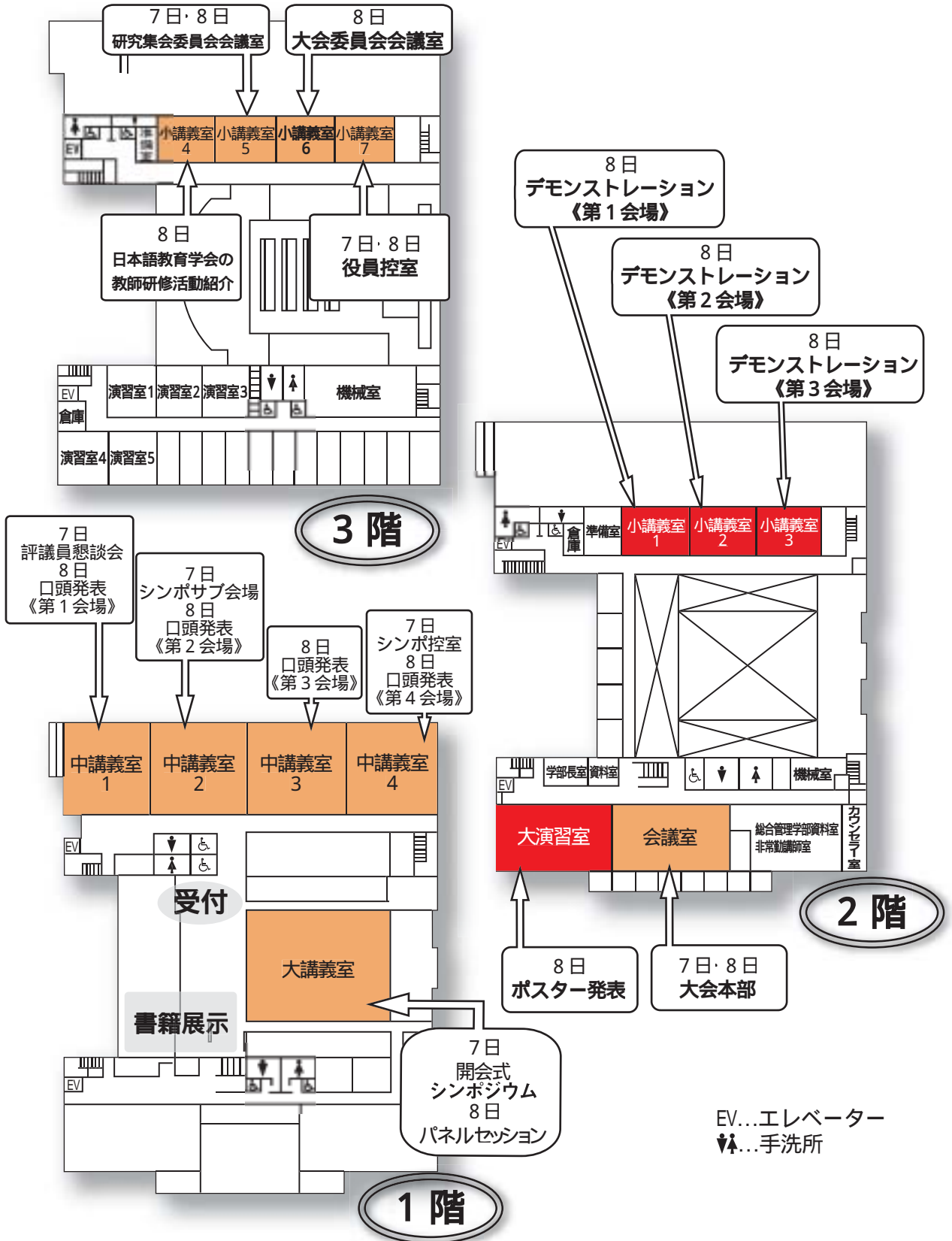
双葉タクシー 0120-39-5428

第2大学会館 学食の営業

10月7日(土)、8日(日)の両日とも、11時~14時

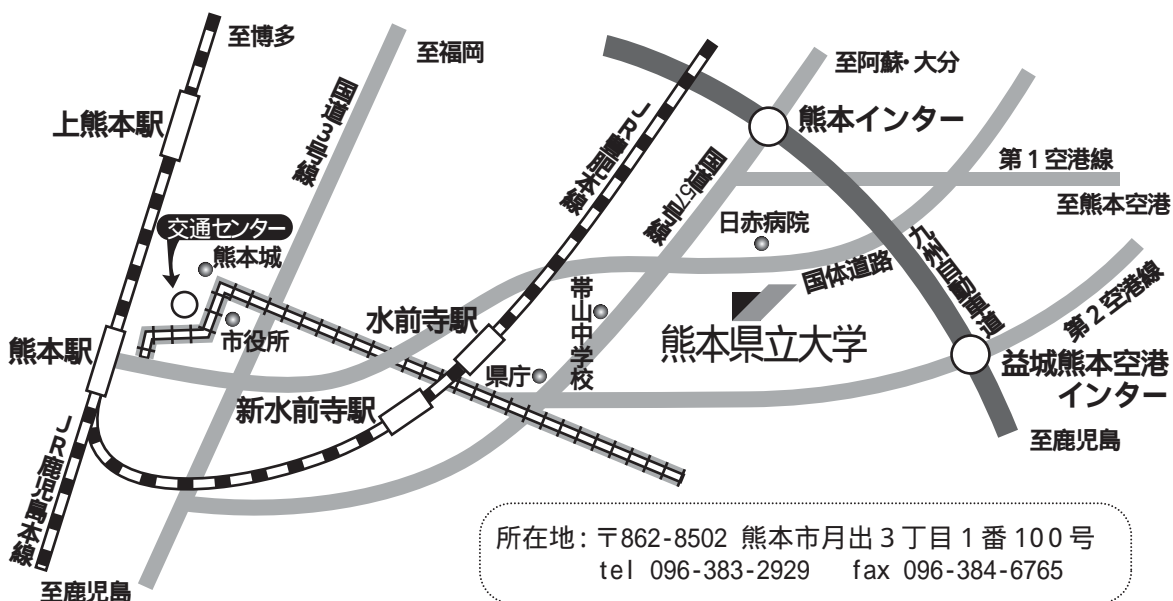
会場案内図

大講義棟・新講義棟・総合管理学部棟



会場への交通案内

熊本県立大学



JR熊本駅から

バスを利用する場合

JR熊本駅から、バスで約10分、交通センター下車（又は、市電で約10分辛島町電停下車）。
交通センターからは、次項を参照。

タクシー...所要約25分。

交通センターから

バスを利用する場合

27番乗り場

(1) 市営バス「日赤・長嶺団地・月出」行き(「県1」、「県3」、「味1」又は「味2」表示)で約40分、
「県立大通り」下車、西門まで徒歩1分。又は「県立大学前」下車、正門まで徒歩1分。

14番乗り場

(1) 産交バス「パークドーム」行き(「鹿8」表示)で約30分、「日赤病院前」下車、車両門まで徒歩1分。
(2) 産交バス「戸島」行き(「鹿7」表示)で約30分、「日赤病院前」下車、車両門まで徒歩1分。

12番乗り場

市営バス「長嶺小学校前」行き(「鹿10」表示)で約35分、「日赤病院前」下車、車両門まで徒歩1分。

熊本空港から

タクシー...所要約20分。

バスを利用する場合

「熊本駅前」行きリムジンバスで約20分、「自衛隊前」下車。バス停からはタクシーで約10分。

九州自動車道・熊本インターチェンジから

熊本インターチェンジから国道57号(東バイパス)を熊本市街方面に約4km南下し、国道道路・産業道路との交差点信号(左手かどに「洋服の青山」)を左折。その後、約1.5km直進し、6つ目の信号右手(左手に「熊本赤十字病院」、「日本赤十字社健康管理センター」)に熊本県立大学あり。

福岡方面からの高速バスを利用する場合

熊本インターチェンジ経由便の場合...高速バスが熊本インターチェンジを降りてから3つ目のバス停、「帯山中学校前」で下車。「帯山中学校前」バス停から、熊本県立大学までタクシーで約10分。同バス停から徒歩3分の「帯山小学校入口」バス停から、市営バス「日赤・長嶺団地・月出」行き(「県1」、「味1」又は「味2」表示)で約10分、「県立大通り」(県立大西門の場合)又は「県立大学前」(県立大正門の場合)下車、熊本県立大学まですぐ。

益城熊本空港インターチェンジ経由便の場合...高速バスが益城熊本空港インターチェンジを降りてから2つ目のバス停「自衛隊前」下車。「自衛隊前」バス停から、熊本県立大学までタクシーで約10分。